

地域ぐるみで「体験の風をおこそう」運動推進事業

「さくらフェスタ」

1. 趣旨

地域の方々に当施設の新しい年度の始まりを知らせ、体験活動の意義や重要性について認識を深めてもらうため、施設を開放し、施設内で咲いている桜の鑑賞や体験活動の機会を提供する。

2. 事業の概要（期日と参加者）

	内容	期日	参加人数
1	さくらフェスタスタンプラリー	令和6年4月1日（月）～21日（日）	257名
2	前橋市立前橋高等学校吹奏楽部による演奏会	令和6年4月6日（土）	84名
	合計	21日間	341名

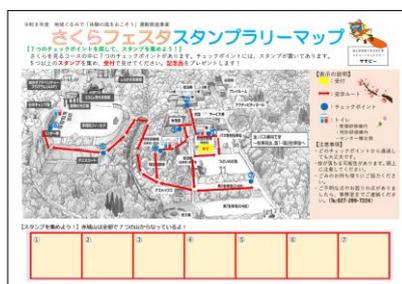
3. 企画運営のポイント

- (1) 地域住民の方に広く周知できるよう、メディアや地域の回覧板等を活用する。
- (2) 体験活動の意義や重要性を伝えることができるよう、桜を鑑賞しながら所内を散策できるスタンプラリーを企画する。
- (3) 安心・安全なプログラム運営ができるよう、実施前や実施期間中に落ち枝等の点検を行う。

4. 事業の様子



「桜の花」



「スタンプラリーマップ」



「市立前橋高校吹奏楽部演奏」

5. 成果と課題

(1) 成果

- ①開催期間を昨年度の3倍となる3週間にしたため、スタンプラリーに多くの方に参加していただいた。
- ②前橋市立前橋高校吹奏楽部による演奏会は子供から大人まで大好評であった。
- ③桜の鑑賞とスタンプラリーを目的に初めて来所された方がいた。当施設を知ってもらいよい機会を提供できた。

(2) 課題

- ①前橋市立前橋高等学校吹奏楽部による演奏会では、多くの方に参加していただくために開花予報なども参考にし、実施することが必要であった。
- ②スタンプラリーではご年配の方にも楽しんでもらえるよう、マップを見やすくしたり、足腰の負担の少ないコースを設定したりするなどの工夫が必要である。

担当 企画指導専門職 杉山 直弥